

山口情報芸術センター [YCAM] レクチャー

アートってどうみたらいいの？と思ったことがある人へ

2020年9月27日（日）、28日（月）各日14:00～17:00（1日のみの参加も可）
山口情報芸術センター [YCAM] スタジオC（27日のみ）、ホワイエ

アート鑑賞は難しい？

作品の魅力を発見するコツお伝えします！

山口情報芸術センター [YCAM] では、芸術作品をより楽しんで鑑賞したり、理解する面白さを深めるための公開講座「アートってどうみたらいいの？と思ったことがある人へ」を開催します。

YCAMではこれまで、作品に対する鑑賞者の理解を促すため、ギャラリーツアーやワークショップなどの教育普及プログラムを実施してきました。そこで参加者からよく寄せられる意見として、「美術館では静かに作品を鑑賞するもの」「専門的な知識がないとアート鑑賞は難しい」といったものが挙げられます。

このイベントでは、美術館における鑑賞教育の専門家を講師に迎え、作品鑑賞の際に鑑賞者の中に生まれる「分からない」という感覚を出発点に、作品鑑賞をより楽しいものに変化させるための「コツ」を、ワークショップや作品の鑑賞会などを交えながらお伝えします。

美術作品に対する柔軟で幅広い視点を提示する本イベントを通じて、作品をより深く読み解く力を養う機会とするとともに、作品を通じたコミュニケーションの場を創出します。この機会にぜひご参加ください。

この機会に、取材や記事掲載にご協力いただけますよう、よろしく願い申し上げます。

[お問い合わせ]

山口情報芸術センター [YCAM] 学芸普及課

〒753-0075 山口県山口市中園町7-7

TEL: 083-901-2222 FAX: 083-901-2216 メールアドレス: press@ycam.jp ウェブサイト: www.ycam.jp

取材に関するお問い合わせ、プレス用写真等ご入用の方は上記までご連絡ください。



トークイベント「ワークショップはどうやって創られるのか？」（2012年）
撮影：丸尾隆一（YCAM）

「つくること」だけではなく「みること」にも重点を置いてきたYCAM



梅田宏明「Holistic Strata」に際して開催したバックステージツアー（2011年）
撮影：丸尾隆一（YCAM）

YCAMでは、2003年の開館以来、メディア・テクノロジーを応用したオリジナルのインスタレーション作品やパフォーマンス・アーツ作品を国内外のアーティストらとともに制作／発表してきました。そして、こうした作品の多くが、YCAMでの発表の後に、国内外のアートフェスティバルや展覧会などでも展示され、高い評価を受けています。

作品の評価とは、アーティストの知名度や、用いている技術の新規性で決まっていくものではありません。作品を鑑賞し、それについて考え、批評的な視点を持つ鑑賞者が多数いることによって積み上げられていくものです。YCAMでは、作品に対する鑑賞者の視野を広げるために、作品制作に留まらず、作品をより深く味わってもらえるような鑑賞の機会を提供するプログラムも数多く開発／実施してきました。

その代表的な例が、展覧会や公演に際して実施する「ギャラリーツアー」や「バックステージツアー」です。これらのプログラムは、日常的には接する機会の少ない作品の制作プロセスを紹介するとともに、参加者同士の意見交換を軸に多面的な作品理解を促すものとなっています。また、映画上映においても、ある映画にまつわる多様な意見の交換から、演出の意図などを立体的に読み解こうとする「映画を2回観る会」も実施しています。

今回、こうした取り組みを踏まえたうえで、“アート鑑賞とは何か？”という根源的な視点に立ち返り、芸術作品をより深く味わうためのレクチャー形式のイベントを開催します。それが「アートってどうみたらいいの？と思ったことがある人へ」です。

■ バックステージツアー



撮影：谷康弘

YCAMでおこなわれている滞り制作の様態や、その舞台裏を見学できるツアー形式のイベント。普段はなかなか目にするのできない劇場の機構やシステムのほか、劇場の仕事、アーティストの作品制作の様子を担当スタッフが作品について一方的に「解説」するのではなく、実際に制作された場所をツアー形式で案内したり、作品について思ったことを参加者と一緒に話し合うことに着目した。これらを通して、作品の本質に迫るヒントを得たり、自分と異なる参加者の意見によって視座が広がるような体験ができることを目指して開催。

■ 映画を2回観る会



撮影：丸尾隆一（YCAM）

ある1本の短編のアニメーションや実写映画を、ナビゲーターによる解説や参加者同士の感想共有を間に挟んで、2度鑑賞するというワークショップ形式のイベント。この一連の過程を通じて、作品が持つ多面性や重層性があらわになり、作品に対する見方がより柔軟で幅広いものへと変化していくと同時に、映画を観て感じたことを言葉にして共有する力、批評的な視点を養うことを目的に開催。

あなたの作品鑑賞の体験がもっと深く、楽しくなる！



「YCAM InterLab Camp vol.3: パーソナル・バイオテクノロジー」における
会田大也のレクチャー（2019年）／撮影：田邊アツシ

本イベントは、鑑賞者同士のコミュニケーションを通して、芸術作品を多角的な視点から読み解く「対話型鑑賞法」と呼ばれる手法を手掛かりに、2つのレクチャーからアート鑑賞の本質に切り込んでいきます。

1つ目のレクチャー「みて、きいてみる編」では、YCAMの教育プログラムを多数開発してきた会田大也を講師に、「そもそもアート鑑賞ってどんなこと？」というテーマで開催します。この回では、ある共通の作品について、他の参加者と感想を共有するワークショップをおこない、能動的なコミュニケーションを通して作品をみるコツを、対話型鑑賞法の実践例も交えながらお伝えいたします。ほかにも、作品鑑賞にまつわるいくつかのワークショップを実施する予定です。

2つ目のレクチャー「かんがえて、はなす編」では、対話型鑑賞について実践と研究を重ねる平野智紀を講師に、作品をどう鑑賞すると良いのか、ともに鑑賞する相手と作品に向き合う時の態度はどのようなものが適切なのか、といったことについてのレクチャーをおこないます。また、実際に対話型鑑賞法を用いて作品を鑑賞するグループワークなどを展開し、能動的な鑑賞者として作品を理解する面白さや、実際に自分が作品を紹介する立場を体験していきます。

これらのレクチャーを通じて、作品が持つ多面性や重層性の再発見を促すとともに、双方向的なコミュニケーションの場としての作品鑑賞の可能性を模索していきます。アートってどうみたらいいの？と思ったことがある人のご参加をお待ちしています。

■ 講師プロフィール

会田大也（あいだ・だいや）

YCAMアーティストック・ディレクター



2003年開館当初より11年間、山口情報芸術センター（YCAM）の教育普及担当として、メディアリテラシー教育と美術教育の領域にまたがるオリジナルワークショップや教育コンテンツの開発と実施を担当する。2014年より東京大学大学院ソーシャルICTグローバル・クリエイティブ・リーダー[GCL]育成プログラム特任助教。あいちトリエンナーレ2019ラーニング・キュレーターを経て、2020年現在、YCAM学芸普及課長を務める。

平野智紀（ひらの・ともき）

内田洋行教育総合研究所 主任研究員



専門は美術教育・教育工学・ワークショップ。あいちトリエンナーレ2019ボランティア育成特別講師、六本木アートナイトをもっと楽しむガイドツアー講師などを務める。2020年現在は、京都造形芸術大学アート・コミュニケーション研究センター共同研究者、内田洋行教育総合研究所主任研究員、東京大学大学院学際情報学府博士課程在籍（山内祐平研究室）に所属。

開催概要

アートってどうみたらいいの？と思ったことがある人へ

2020年9月27日（日）14:00～17:00（13:00開場）

みて、きいてみる編

講師：会田大也

会場：ホワイエ、スタジオC

2020年9月28日（月）14:00～17:00（13:00開場）

かんがえて、はなす編

講師：平野智紀、会田大也

会場：ホワイエ

参加無料 ※要申込（申込方法は右欄参照）

定員：各回35人

対象：中学生以上

※いずれか1日のみの参加も可

※先着順のため、状況によっては期間内に応募を締め切る可能性があります。

新型コロナウイルス感染症への対応

- ・飛沫感染防止の観点から、マスクの着用をお願いします。
- ・発熱や咳など風邪の症状がある場合や、過去2週間以内に感染拡大が続いている国や地域へ訪問歴があるなど、健康に不安のあるお客さまはご来場をご遠慮ください。
- ・ご入場前に、受付にて必ず検温をお願いいたします。37.5度以上のお客さまは、参加をご遠慮いただく場合がございますので予めご了承ください。

主催：山口市、公益財団法人山口市文化振興財団

助成：令和2年度 文化庁 文化芸術創造拠点形成事業

後援：山口市教育委員会

共同開発：YCAM InterLab

企画制作：山口情報芸術センター [YCAM]

■ 申込方法

- ・YCAM1階チケットインフォメーションにて直接申込
- ・下記ウェブサイト内に用意された申込フォームに記入

ウェブサイト：

www.ycam.jp

申込締切日：2020年9月20日（日）

託児サービスのご案内

有料。9月20日（日）までにチケットインフォメーションへお申込みください。